

土留め工法技術資料正誤表

掲載P13 誤：図-1.7 掘削工法の設計・施工を検討する際に留意している項目
正：下図に差し替え

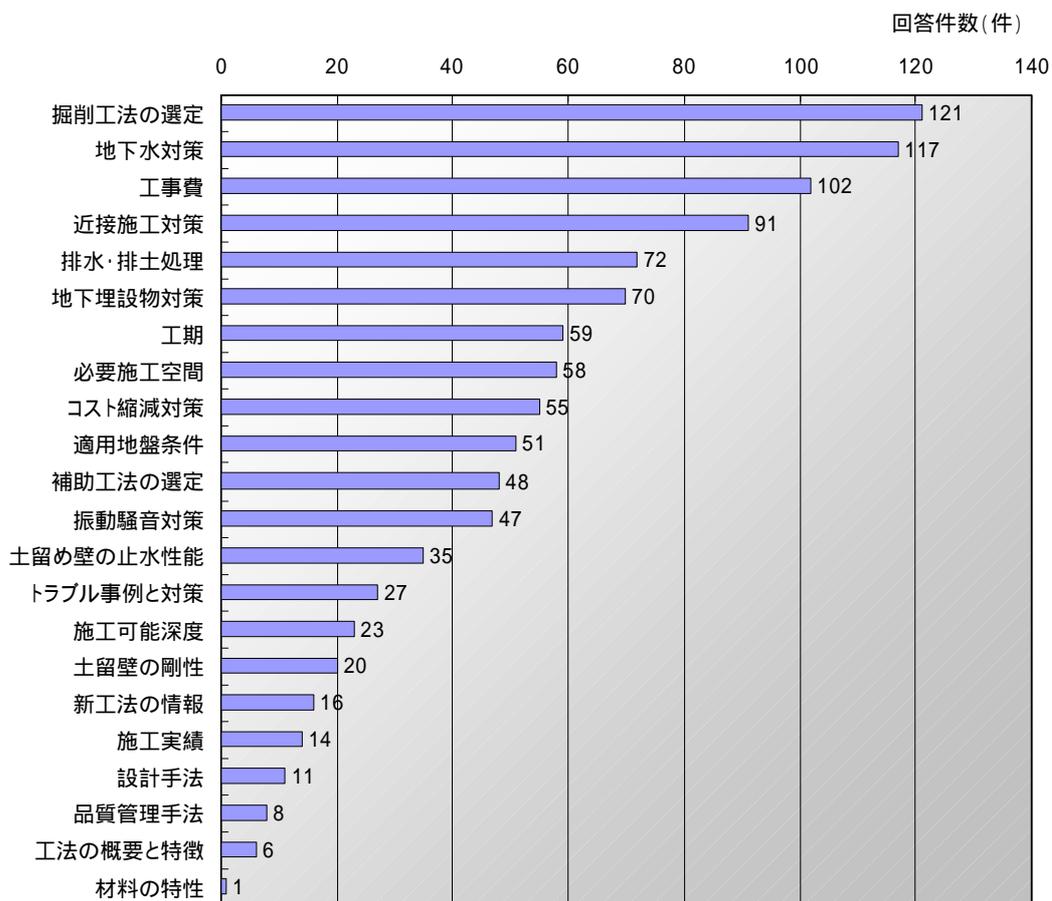


図-1.7 掘削工法の設計・施工を検討する際に留意している項目

掲載P48 根入れ系土留め壁工法 No.11 BH・W工法の工法概要シート

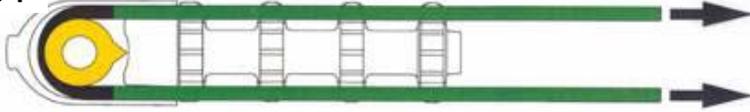
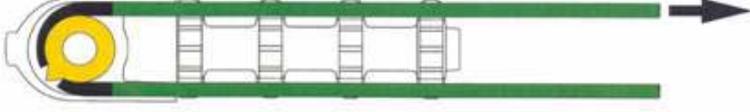
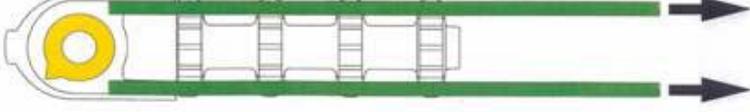
誤：tel.047-397-1311/fax.047-397-1317

正：tel.047-354-3116/fax.047-354-3114

掲載P200 アンカー工法 No.30 カップスアンカー工法の概要シート

誤：「適用上の留意事項」、「テンダンの許容引張り力の最大値」

正：別途添付資料に差し替え

工法名称	カブスアンカー工法			
工法分類	大分類	除去式アンカー	テンドンの種類	PC鋼より線
	定着法	摩擦型アンカー（圧縮型）	頭部定着法	くさび
工業所有権	特許 実用新案	指定業者制度	あり（7社）	
評価・審査証明				
指針・基準類	設計指針	施工指針	積算基準	その他
施工実績	39件（平成13年度まで）			
長所	<p>1.従来の圧縮分散型アンカーと同等の荷重伝達性能・打設時の施工性を持つ</p> <p>2.PC鋼より線が除去時に耐荷体の先端ターン部を通らないため、除去抵抗が少なくPC鋼より線をまとめて引抜くことができる</p> <p>3.コイル状にならないPC鋼より線は除去時の跳ね上がりが無く、安全性が高い</p> <p>4.直線上に引抜けたPC鋼より線は、切断などの廃棄作業が容易である</p>			
短所	材料費が比較的高価である			
適用上の留意点	記述内容、削除			
除去方法	概要	供用時は、荷重をPC鋼より線から耐荷体でおり返し、耐荷体によって荷重を地盤圧縮分散型アンカーとして荷重を地盤に伝達する。除去時は、定着荷重を解放してから一対のPC鋼より線の片方をジャッキで片引きすることにより、耐荷体先端でPC鋼より線が切断され、まとめて引抜くことができる。		
	原理分類	アンボンド型除去式アンカー（U定着型）		
	平均的な除去率	100%	最大アンカー長（実績）	40m
	優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・PC鋼より線が除去時に耐荷体の先端ターン部を通らないため、除去抵抗が少なくPC鋼より線をまとめて引抜くことができる ・コイル状にならないPC鋼より線は除去時の跳ね上がりが無く、安全性が高い ・直線上に引抜けたPC鋼より線は、切断などの廃棄作業が容易である 		
テンドンの許容引張り力の最大値（仮設）	856 kN（削孔径135mm，耐荷体4個使用の場合）			
<p>供用中</p>  <p>除去時</p> <p>(1) 片引き</p>  <p>(2) 切断</p>  <p>(3) 引抜き</p> 				
協会名又は会社名	カブスアンカー工法協会（事務局：日特建設株）			
ホームページ				
連絡先	104-0044 東京都中央区明石町13-18			
tel/fax	TEL 03-3542-9125 / FAX 03-3542-9118			